

元五輪選手が鬼北町に

華麗なプレーで1,300人を魅了

宝くじスポーツフェア・はつらつママさんバレーボールが6月27日と28日の両日、鬼北総合公園体育館で開催されました。

この事業は、健全な家庭の育成と長寿社会に対応したまちづくり、ならびに宝くじの普及広報を目的に(財)自治総合センターなどが主催し、毎年全国約10カ所で開催。世界大会やオリンピック等出場経験者で結成されたドリームチームが(財)日本バレーボール協会から派遣され、地元チームとの親善試合、バレーボール教室等を行っています。

を進め、関係者の努力が実り、今回のイベントが実現しました。

参加したのは、河西昌枝さん、森田淳悟さん、広瀬美代子さん、中田久美さん、中垣内祐一さん、ヨーコ・ゼッターランドさん、坂本清美さん、吉原知子さん、佐伯美香さん、櫻井由香さん、向井久子さん、落合真理さんの12人。会場には、世界で活躍した名選手のプレーを間近で見ようと、県内外から約1,300人が訪れました。

28日に開催されたメインイベントのフレンドリーマッチには、打倒ドリームチームを目標に、愛媛県選抜と南予選抜、そして鬼北町から全国大会出場経験のある近永クラブの3チームが出場。日頃

の練習で鍛えた技術・チームワークを発揮し、序盤からアタックやブロックを決めるなど善戦しました。終盤は、ドリームチームが要所で流れるようなクイック攻撃やするどいスパイクなど華麗なプレーを連発し、セットカウンタ2対0で貫禄の勝利。敗れはしたものの、参加チームの素晴らしいプレーの連続に会場からは盛大な拍手と声援が送られました。

そのほか、バレーボール教室には、近隣市町のママさんバレーボールチームや中学・高校のバレー部などが参加。あこがれの選手からアタックやレシーブ、ブロックについて直接指導を受けるなど、夢のような時間を過ごしていました。



バレーボール教室で指導する広瀬美代子さん(写真①)、櫻井由香さん(写真②)、吉原知子さん(写真③)、佐伯美香さん(写真④)、ヨーコ・ゼッターランドさん(写真⑥)、中田久美さん(写真⑦)、開会式であいさつするドリームチーム代表の河西昌枝さん(写真⑤)、熱戦が繰り広げられたフレンドリーマッチ(写真⑧)